第8号(1)

酒田南高等学校 広報委員会

を終えて。受験生の表情に達成感が溢れてし

図南之翼 (となんのつばさ) 電子版について

URL はこちら https://www.sakataminami-h.com/

スマホの方は以下のQRコードからどうぞ

酒田南高等学校WEBページからご覧になれます。

図南之翼(となんのつばさ) 2・3月号

(約800名が受験)

卒業生人数 176名

(旧酒田南117名/旧天真学園59名)

32名(旧南24名/旧天8名)

進学予定者

・四年制大学 45名(旧南41名/旧天4名)

・短期大学 5名(旧南 5名/旧天0名)

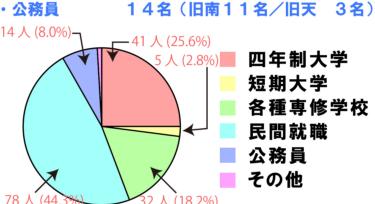
・その他学校 2名(旧南 1名/旧天1名)

就職予定者

78名(旧南35名/旧天43名) 51名(旧南21名/旧天30名)

27名(旧南14名/旧天13名)

14名(旧南11名/旧天 3名)



第41回

バレーボール冬金飽海地区高等学校

1月1日(日)

ル冬季大会

「丸山杯」・「工藤杯」

争 奪

二回戦

対

**GORILLAS** 

80 対 83

会 日 場 時

酒田光陵高校体育館 - グ戦2勝0敗)

酒田 田 東 陵

二月二日、二月入試を目前に控えた土曜日、この時期にしては珍しい青空の下毎年恒例の寒鱈フェアが行われた。晴れている分冷えた。時間と調理科のの大生方や生徒が何日も前の先生方や生徒が何日も前の先生方や生徒が何日も前の先生方や生徒が何日も前の先生方や生徒が何日も前の先生方やはまで五百人近いお客様を迎え、大盛況の中でのフェアとなった。調理科の方々、総計で五百人近いお客様を迎え、大盛況の中でのフェアとなった。調理科の方々、総計で五百人近いお客様を迎え、大盛況の中でのフェアとなった。調理科の先生方や生徒が何日も前の先生方や生徒が何日も前の先生方やはいた。

皇后杯都道府県対抗 生藤明日美(立川) 会場 京都市内 会場 京都市内 日時 1月13日(日) 会場 京都市内 会議 京都市内

その他部活動詳細はWEBで・二月の主な大会結果

会場 上山市内 日時 1月27日(日 1月27日) 太郎(鶴五) 野美 三位 (余川) 大大会 (最上) 前

# ス

◆酒田南A(1 会場 国体記念 第 8 回 一回戦 国体記念体育館 ボールフェスタ酒田バスケット -月26日・ ル · 2 年) ○ 90 対 55 大 27 日

対 対 TeamW HARLEM 対

× 吹浦 68 対ラブ 96 ブ

85 対 84 第三位 対 35

一回戦 対 Tea 二回戦

寒鱈フェア P4

今年度卒業生進路状況

各部大会結果

目次

P2~P3 卒業おめでとう特集

はなか金費たなり係 す著訳っ葉ーし もしにを私くされす 。名 。 卒 想るらを ぞ  $\mathcal{O}$ 上智大記話を一 るい学ろにれ高業出生う、の校お なの は使側 、の校お おうだ を大数分が さ今そか長話しだかど道課めてんも講はてっとんを程で ま きれ金  $\bigcirc$ つ 客た。は けす。 なは て授 を程でご 担で弘的。たち忘出は正存英先忘 業 なし話あみた 考 な歩 い今い りて頃え話み修 だ て 中れと だのた んい 机 でまはま ろ君 だわ さ次 Z 雄在語生れ もの まが始 ŧ もせそせ < うた いのれ国先と同がな 卒し心め て際生し時いい、 まよ んんん記業たにる `ににれお しうお関でて通ら言おねなで憶式が届皆そま

でといの会てをを名学る こが、いま時人きいす目校社しと特 任道て創まで向努いり日段とて でといの会てをを名学る ` 3 がこかき す 力成ま をを 自 間にたたるで卒会かを権い恥ま しす す忍  $\succeq$ ま 果 す 持進決の 分 日 う 、業人し、 マも。 をなる感き会 つみ心で自いなり を す。 を る 耐捉お とえ 金 き会常後生 、感得に す 分好達 あ と、て 質 で を の まい 生 か 分 意 て く のき成とげか不て を仕幸 こ事 を どで、占、 し得事福 れ分覚自人に感 幸 占 一いらしの仕振35したとにの味間よ がで悟分生な **□** め日ま与か高事り年たのい親幼をも てのすえもいと返に°とうにさ実な め日 てる面勉事 とけ苦変え 人果持選自 続 事 でいた。大 。らお勉いるわ でにっ択分いこ的強 でに あ責てしできとに、良な毎手 ゅっか ま半社れ金強うとた

りがんがまるというがんでする。 壁しっ ° ŧ Y でいた まと くかまゆ乗し大 だ 5 E っりた丈 ż 、はく越 い自立 りえ 。分ちでられみ 三の止もれかん 年人まいるらな 業

っいは現はす

てかずれ成

あ を

ż

さて

第8号(3)

年の思私てなら高本とらた真一とてう響な りるいで気きのとし人いそり頑人で?ねさ がはつす持っで離んはのれ組張はす卒 とすれだ `でがむ つ 必でで 。て人高す無何た高?はなく ! 最ずもすさ4しで校 。くか人校さ `よみ組ます生悲ながで生みみん悲 高み のんこねしのう。 活しるあす活ししはし こなの?くみか最をいかっ°をいくどい

自が前園

2

`の館

、年でけ

`高

、館校め

取入と

等 業

学お

た天

図南之翼(となんのつばさ) 2・3月号

本五 美

てはこ上きまぞ

一らでい本しにの私てと活まて等合引次境号

っやも虫が放月さもか運この第て3次スの工3真

、っ運生えし高統の年環

`学

。日のし

、越

、とのハー今年にタ不事年学

`た今校そし2中だ

福出に進り安は明て大はとれそ捉よレ回新次は1

。な心た光3はい捉をし

みら弱強をのなかる幸

。彩年みるえ

よ見わ言思のしがろいあ 葉い逆かた辛事り高 つし 頑け に悩境しくくばま校 、さてかし三 張て自 しむに 分 、度負皆ん大りた年 まま自友にけさあ変で 身達自るんりだは楽 たたでと分こはまっなし 意のと決したくく Q ` ~ 高本決見考なした事 校当策 をえくてねのむ嬉事 三にを交を 、そ。方ししが

木組

任

ん前を寂るい切

き向えが振よ時

なり

<

、悩がは

祝のりにか不実でっつ日んし

るう

が屋舞ででかこ

でを抱し

#

歩

んを参前しっ

みな

すにま

泣いす

りりのお、三め

笑出年で

、あなざ

怒り出い

会ま

つ来間

た事様

りが々

。卒

こ業

いが

たあ

いく為けでたて年 にますま一間 。去けに来 。てこ未てはし出

哉

Ξ 真任 澄

ラぐ感て毎ワにの そスらじ生日|も担卒 でいたきでに思任業 かくいたのなし工の抜し驚いにお くたか切なめ 。ル確力がさ つ 、れて てと ギかが でする。社が、 二 う のする ば戦年 会 なす 。君 あ るそし しる何た クれと のパ事ち

でずれ手てしれん 活抜む き 躍く道 を期を挑こ間 らいまね道君たネも 間のかす 。にた 待見戦とと自なか準旅ち しせではだ分か。備立が こかにっ準とつ春 き 77 るれら活た備覚とか まだはか覚か経不悟きら すさずら悟せ験足はがそ

び い生のしるはでできれ

。き進

願きがしなとあなは変らま方すきそみでかっ人とてらがなた勇えれず次でっんんすら Y ず必たに気らる 。 第 し なな だ にずだしでれもだ考ょ新個誰 、あかかするのかえうた性 あからで。もにら方。な的 z ま歩み Z かりあ

築れれすくい自を事痴仕るる 。れく分磨にっ方皆と 卒いずま す本る 、をいよぼな 業 7 おい幸。気こそ認てりよいがめっせ感のとんめい日大、が でてな謝努をなてき々人嫌 とく人とカ期人好 向にだ うだ生謙は待生きそ 上な嫌 5 をにのし を虚必し だ さずて歩な結 い自 。分を報いんっ果自 `分仕愚 で忘わまでて

等学

校。

子

がれさそ先社肝の全

の葉な

れ生会にだ

。卒

て

の人

`を

痛をかじで言に

。とうにさ実なに

い立守

う場ら甘

Ξ

りらとこうぬす りかが しるき分といて何越しあこがっ共とれ夜 `っのとたにもしを学業 て諦た三う Z あい過年お 思私り知 主め 任で いて成しせたと | てす間たちし多まい長たに日し う 。ゃょくしまさ 。歓も んうのたすせ君喜あ と。困 。。てたしれ眠い あもちたばれま 乗し難

ほあで十たいく るにえ人ももえ そよ幸一間い立 うせ杯にい派きめこ年ご いななを 感 す生心じ をにるメほ ° 15 送余こンし感な っ裕とでいじら てののも 。のな

健一後せがに旦の 闘歩ろん過開箱出 をずを 祈つ振輝にて仕事 り前りか囚み舞は ま進返しわるい思 すしるいれのまい 下と来は良ょと さなのいいうし

こいげらる ん歩決ま あ を処に・ るのにて幅今日で 。み断し探かも 三感下広あ々はしだしたしでが理年謝さいる威歩かさ、。、繋き根 と年謝さいる感歩かさ 繋き想 を間 い立環謝むしなま道こが苦と 。派 境 。事そけたのこるし現 願がそ う君し君なに親がれれ大続ま自む実 °達て達道感を出はばききで分君の

芳

んんすら人 。 すは もに誰 、個で

世の満世次す価な似体性も も。でい中変で中でてをない、かまっ臆きこにえいは変は生たま心たれ かりあて病るとはるま変わ捉み方せもまたら多り探にこ、あのすえりえ出はん。り時

乗こけと逃時こり高にすりとれもげにとで校よ。卒 越などあてはもは生くこ業 あいれ っ過りとりつた子あ 間るろのこたぎす思まれ。たっ第担とい人れなたぎいしてでちて一任 にしいあいれ 7 `前 つ `るし何多な活頑のお 『進思ろ生かぁ話 てだたいす な 、印を年お していまった皆 もか くは張三め 誰 象 楽っ年で とはた で明気 だががでん話んせすがな日ともる持た `たいはでなまるあこが思仲 くこれん くきそす事せとっと経いの元で、ざさまれ。もん、たがつま良気す三い 。もん、たがつま R xx , -あ。有かあにしいが。年ま 間そらなすぞ 。こてすなかた当ま

、、、 、 なか t お 卒いんもおかっ ` 業くなしうもたつして間と しつはれと投とらいくみう ても逃ま思げ思 いのげせっ出い大とまなざ き壁出んたしま変ばし本い大 まをす